

平成30年度

「万葉を読む」講座

主催:伊丹市文化財保存協会

共催:伊丹市教育委員会

テーマ:「万葉集と古今和歌集」

奈良時代に編纂された「万葉集」、その100年後の平安時代に編まれた初めての勅撰和歌集「古今和歌集」。この2つの歌集の違いや共通点をたどりながら、時代の移り変わりと共に日本人の感性や心情、美意識などが、どう変化し、どう持続されてきたのかを探っていきましょう。

第1回	6月6日(水)	二つの歌集の成立事情
第2回	6月20日(水)	万葉から古今へ
第3回	7月4日(水)	それぞれの季節歌
第4回	7月18日(水)	相聞歌から恋歌へ 1
第5回	8月1日(水)	相聞歌から恋歌へ 2
第6回	8月22日(水)	挽歌から哀傷歌へ
第7回	9月5日(水)	現地講座 ～行先未定～

講師:大森 亮 尚(あきひさ)氏 (古代民俗研究所代表)

会場:東りいたみホール 3階 大会議室

日時:1時30分～午後3時(第1回～第6回)

受講料:◎6回全受講 協会会員6,000円、非会員7,000円(初回時、会場で徴収)

◎1回単位受講 1回 1,500円(毎回、会場で徴収)

なお、第7回の「現地講座」の参加費は別途徴収いたします。

定員:45名(定員になり次第締め切ります。ただし、協会会員を優先とします。)

受付:平成30年5月5日(土)より

お申込み・お問合せ 伊丹市文化財保存協会 (旧岡田家住宅内事務所)

旧岡田家住宅内事務所へ直接お越し下さい (10:00-17:30 月曜 休館日)。

なお、TEL・FAX(072-772-8830)でも受付いたします。